

ロボット推進室からのご紹介

仕上げ加工の自動化に ロボットバリ取りセル

NACHI

エアフローティングユニット付きスピンドルを搭載
バリ取りに必要なすべてをパッケージングした全自動バリ取りセル

不二越 新商品“ロボットバリ取りセル”を紹介します。

加工現場において最大の悩みでありロボット化を切望する現場が“バリ取り工程”になります。そんな悩みをこの1台は解決します。

特徴

- ①小型セルにパッケージ化
…設置場所を選ばない。コンパクト化。
- ②エアフローティングユニットを採用
…ラジアル、アキシャル方向に自由度大 ばらつきに追従可能
…エア圧の可変で最適な押し付け力
- ③簡単操作
…専用ソフトで各種操作を実行
バリ取りワークを最大32種登録
- ④サーボ制御式回転テーブル
…全方位からツールのアプローチが可能

概略仕様

- ・ 本体サイズ (mm)
幅800×奥行1400×高さ1400 (脚部85)
- ・ 使用ロボット
MZ10-01-000-CFD-0000
- ・ 回転テーブル
回転速度 (1sec/90°、2sec/180°)
- ・ 総重量
510kg

